

2023年11月1日

埼玉県様向けヘリコプターテレビ電送システムを受注 都道府県防災に地図合成装置「GEAR」が初採用

～三井物産エアロスペース株式会社様より受注～

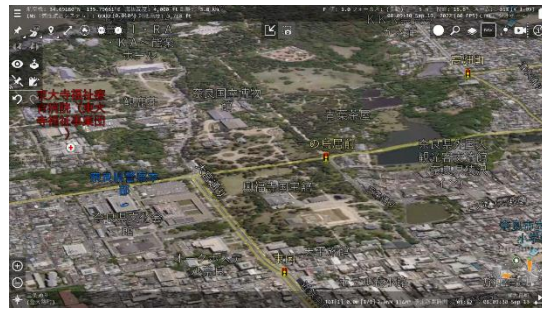
池上通信機株式会社は、三井物産エアロスペース株式会社様より埼玉県様向けヘリコプターテレビ電送システムの機上設備（以下、ヘリコプターTVシステム）を受注いたしました。納入は、2024年9月の予定です。

埼玉県様では3機のヘリコプターを運航されていますが、ヘリコプターTVシステムを搭載したヘリコプターは「あらかわ2」「あらかわ3」の2機となります。今回は「あらかわ2」の機体を「レオナルド社製 AW139」へ更新することにともない、当社のヘリコプターTVシステムをご採用いただきました。

このヘリコプターTVシステムは、ヘリコプターからの映像・音声を県内2つの受信基地局（県庁・堂平山）へ伝送し、受信した情報は県の危機管理防災センターや防災航空センターで確認することができます。これにより、現場の状況をリアルタイムで把握することができ、日々の防災活動に貢献いたします。

また今回は、地図合成装置「GEAR」（Shotover製）を都道府県の防災ヘリコプターに初めてご採用いただきました。この装置は、日本地図に対応しており、主に次の3つの特長を有しており、迅速な防災活動に貢献する装置となっております。

- ① 空撮映像に地図情報（施設名・道路名・登山道など）をリアルタイムに重ね合わせることで、災害や救助時に場所の特定がスピーディになります。
- ② タッチパネルで目標をクリックすると建物の名称が表示され、自動的にカメラが目標へ向く仕組みとなっております。また、目標物の名称や緯度・経度を設定することで同様の動作が可能となります。
- ③ 空撮映像上に、撮影情報（座標と標高、ヘリコプターからの距離と対地高度、施設名、住所など）を表示できます。



合成映像の例

送信方式は、従来のアナログ仕様からアナログ/デジタル仕様（送信出力 5W）になり、遠方からも鮮明な映像を基地局へ伝送できるようになりました。

さらに、搭載機器が従来よりも小型軽量化されたことにより、燃費が向上し飛行距離および飛行時間が伸びたことで、より効率的な防災活動ができるとともに、機内のスペースに余裕が生まれたことで、運用の利便性も向上しました。

池上通信機は、長年にわたり蓄積してきた映像業界でのノウハウを生かし、お客様のご要望にお応えする製品を開発し続けてまいりました。これからもヘリコプターTV システムをはじめとして、池上通信機の技術で国民の安心・安全に貢献してまいります。



地図合成装置「GEAR」

◆埼玉県様の公式websiteはこちらです。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0402/index.html>

◆三井物産エアロスペース株式会社様の公式websiteはこちらです。

<https://aerospace.mitsui.co.jp>

-